

令和5年度宇都宮大学大学院教育学研究科専門職学位課程

入学試験

教育実践高度化専攻

受験科目 小論文

次の3つの設問から、2つを選択し論述しなさい。なお、解答用紙には、選択した問題が分かるように、問題番号を記しなさい。

【問題 1：学校改革力の領域】

「公立の小学校等の校長及び教員としての資質の向上に関する指標の策定に関する指針（文部科学省告示第百十五号）」（令和4年8月31日）において、「教員等の資質の向上を図ることは、児童生徒等の教育を充実すること」に他ならず、「児童生徒等の学びと教員等の学びは相似形となることが重要」であると明示されました。下線部の具体的な意味や内容について考察し、論じなさい。

【問題 2：授業力の領域】

学習指導要領に基づいた児童生徒の資質・能力の育成に向けて、ICT等を活用し、これまで以上に「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実し、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善が求められています。このような授業とはどのようなものか、考える授業の姿について学校種・学年・教科等を特定して具体的に述べなさい。

【問題 3：個への対応力の領域】

通常の学級において学力が非常に高い児童生徒が抱えていると推測される困り感を挙げなさい。また、その困り感に対して学級担任または教科担任としてどのような支援ができると思いますか。小学校、中学校等の学校種を想定してあなたの考えを具体的に述べなさい。

令和5年度宇都宮大学大学院教育学研究科専門職学位課程

第2次入学試験

教育実践高度化専攻

受験科目 小論文

次の3つの設問から、2つを選択し論述しなさい。なお、解答用紙には、選択した問題が分かるように、問題番号を記しなさい。

【問題 1：学校改革力の領域】

中央教育審議会『『令和の日本型学校教育』の構築を目指して～全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～（答申）（中教審第228号）』（2021年1月26日）では、2020年代を通じて実現すべき「令和の日本型学校教育」に関して以下のような記述があります。

個々の教職員がチームの一員として組織的・協働的に取り組む力を発揮しつつ、校長のリーダーシップの下、家庭や地域社会と連携しながら、共通の学校教育目標に向かって学校が運営されている。

あなたは、上記の「チームの一員として組織的・協働的に取り組む力」とは具体的にどのような力だと考えますか。これまでの教育実習や学校でのボランティア活動等を振り返りながら考察しなさい。

【問題 2：授業力の領域】

国立教育政策研究所より、各教科等に対して「『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料」が公表される（2020年～2021年）など、授業における「指導と評価の一体化」の重要性が示されています。「指導と評価の一体化」とはどのようなことを意味していますか。また、その考え方に沿った授業として、どのような展開が考えられますか。学校種、教科、内容等を想定し、具体的な例を挙げながら述べなさい。

【問題 3：個への対応力の領域】

児童生徒が苦手なことに前向きに取り組めるためには、教師としてどのような支援や工夫をすればよいと思いますか。学校種や学年等を想定して、具体的に述べなさい。